

教科名	数学	科目名	数学Ⅲ	履修学年	中学 高校	2年	2	4	5	組
単位数	4単位	使用教科書 補助教材等	数研出版 NEXT数学Ⅲ							
担当者	長尾、山崎 渡辺、安井		数研出版 CONNECT数学Ⅲ+C							
学習目標	数学Ⅲの内容を学習していく中で、「知識・技能」の習得、「思考・判断・表現」力の養成、「主体的に学習に取り組む姿勢」の育成を目指す。									
評価方法										
評価観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む姿勢			
評価規準	・授業や教科書などで学んだ数学的な内容や公式などを理解している。 ・問題に対し、学んだ数学的知識を利用して適切な計算をすることができる。			・文字式や関数、方程式などの知識を活用し、それらを組み合わせて論理的に考察することができる。 ・自分の考えや解法を正しく表現し、採点者に分かりやすい解答を作成できる。			・宿題にコツコツ取り組むなど、粘り強く学習に取り組んでいる。 ・粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習をより良く調整できるように意識している。			
各観点の授業内 評価方法等	①定期考査1枚目（基本問題） →教科書の例題や問題集のA問題を中心に問題し、公式が正しく使い、正確な計算が行えるかを問う。 ②授業内外の小テスト、到達度テストなど			①定期考査2枚目（応用問題） →教科書の応用例題や問題集のB、C問題を中心に問題し、難易度の高い問題に対して最適な思考を行い、分かりやすく解答できるかを問う。			①宿題や課題、小テストへの取り組み・提出状況 ②より良い学習への取り組み・調整			
学期末の 各観点比率(%)	約50%			約30%			約20%			
授業計画										
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等						時間 数	評価 区分 1	評価 区分 2
1	4	【数学Ⅲ】第1章 関数 第2章 極限 第1節 数列の極限						約 18	中 間 考 査	到達 度 確 認 テ ス ト ①
	5	中間考査								
	6	第2節 関数の極限 第3章 微分法 第1節 導関数						約 19	期 末 考 査	
		期末考査								
	7	第2節 いろいろな関数の導関数						約 4		
	8	【夏期講習会】 【夏休みの課題】								
2	9	第4章 微分法的应用 第5章 積分法とその応用 第1節 不定積分						約 18	中 間 考 査	到達 度 確 認 テ ス ト ②
	10	中間考査								
	11	第2節 定積分 第3節 積分法的应用						約 22	期 末 考 査	
		期末考査								
	12	演習						約 6		
【冬休みの課題】										
3	1	【数学C】第4章 式と曲線 第1節 2次曲線						約 18	学 年 末 考 査	
	2	【数学Ⅲ】演習								
	学年末考査									
【春期講習会】 【春休みの課題】										

教科名	数学	科目名	数学C	履修学年	中学 高校	2年	1	3組	
単位数	3単位	使用教科書 補助教材等	数研出版 NEXT数学B, C						
担当者	長尾、山内		数研出版 CONNECT数学II+B, C						
学習目標	数学B、Cの内容を学習していく中で、「知識・技能」の習得、「思考・判断・表現」力の養成、「主体的に学習に取り組む姿勢」の育成を目指す。								
評価方法									
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む姿勢			
評価規準	・授業や教科書などで学んだ数学的な内容や公式などを理解している。 ・問題に対し、学んだ数学的知識を利用して適切な計算をすることができる。		・文字式や関数、方程式などの知識を活用し、それらを組み合わせて論理的に考察することができる。 ・自分の考えや解法を正しく表現し、採点者に分かりやすい解答を作成できる。			・宿題にコツコツ取り組むなど、粘り強く学習に取り組んでいる。 ・粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習をより良く調整できるように意識している。			
各観点の授業内 評価方法等	①定期考査1枚目（基本問題） →教科書の例題や問題集のA問題を中心に問題し、公式が正しく使い、正確な計算が行えるかを問う。 ②授業内外の小テスト、到達度テストなど		①定期考査2枚目（応用問題） →教科書の応用例題や問題集のB、C問題を中心に問題し、難易度の高い問題に対して最適な思考を行い、分かりやすく解答できるかを問う。			①宿題や課題、小テストへの取り組み・提出状況 ②より良い学習への取り組み・調整			
学期末の 各観点比率(%)	約50%		約30%			約20%			
授業計画									
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等					時間 数	評価 区分 1	評価 区分 2
1	4	【数学B】第2章 統計的な推測 第1節 確率分布 5 正規分布 ~ 第2節 統計的な推測					約 15	中 間 考 査	到 達 度 確 認 テ ス ト ①
	5	中 間 考 査							
	6	【数学C】第1章 平面上のベクトル 第1節 ベクトルとその演算					約 13	期 末 考 査	
	7	期 末 考 査							
	8	演習 【夏期講習会】 【夏休みの課題】					約 3		
2	9	【数学C】第1章 平面上のベクトル 第2節 ベクトルと平面図形					約 15	中 間 考 査	到 達 度 確 認 テ ス ト ②
	10	中 間 考 査							
	11	第2章 空間のベクトル					約 15	期 末 考 査	
	12	期 末 考 査							
3	演習 【冬休みの課題】					約 3			
3	1	数学IAIIBCの基本演習					約 17	学 年 末 考 査	
	2	学 年 末 考 査							
	3	【春期講習会】 【春休みの課題】							

教科名	数学	科目名	数学C	履修学年	中学・ 高校	2年	2, 4, 5	組	
単位数	2単位	使用教科書 補助教材等	教科書： 数研出版 NEXT数学B, 数学C						
担当者	永野		問題集： 数研出版 CONNECT数学II + B + C						
学習目標	数学B「統計的推測」数学C「ベクトル」「複素数平面」「式と曲線」の基本事項を身につけ、次年度入試演習ができる基礎学力を身につける。また、記述力を上げて、解答できるようになる。								
評価方法									
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む姿勢			
評価規準	・教科書の定義・定理・公式を理解し、それらを活用して問題が解けるか。		・公式をそのまま利用するだけでは解けないような問題に果敢に挑戦できるか。 ・途中過程などを含めて、数学の答えを記述できているか。			・自宅学習にしっかりと取り組み、学習内容の定着を図れているか。 ・自分の課題などを把握し、どのように改善していくかを自分で考えられるか。			
各観点の授業内 評価方法等	主に定期考査の得点で評価する。2, 3学期は到達度確認テストの得点も考慮する。 また、演習プリントの提出も考慮する。					主に休暇中(夏,冬)の課題ノート提出やプリント課題の提出によって評価する。			
学期末の 各観点比率(%)	約80%					約20%			
授業計画									
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等					時間 数	評価 区分 1	評価 区分 2
1	4	【数学B】第2章 統計的推測 第5節 正規分布～大数の法則					11	1 学期 中間 考査	
	5	【数学B】第8節 推定～仮説検定							
	6	【数学C】第1章 平面上のベクトル 第1節 ベクトルとその演算 第2節 ベクトルと平面図形 5. 位置ベクトル					12	1 学期 期末 考査	
	7								
	8								
2	9	【数学C】第1章 平面上のベクトル 第2節 ベクトルと平面図形 6. ベクトルの図形への応用 7. 図形のベクトルによる表示					9	2 学期 中間 考査	第 1 回 到 達 度 確 認 テ ス ト
	10	【数学C】第2章 空間のベクトル 1. 空間の点 2. 空間のベクトル 3. ベクトルの成分							
	11	【数学C】第2章 空間のベクトル 4. ベクトルの内積 5. ベクトルの図形への応用 6. 座標空間における図形					11	2 学期 期末 考査	
	12	【数学C】第3章 複素数平面 1. 複素数平面							
3	1	【数学C】第3章 複素数平面 2. 複素数の極形式 3. ド・モアブルの定理 4. 複素数と図形					9	学 年 末 考 査	第 2 回 到 達 度 確 認 テ ス ト
	2	【数学C】第4章 式と曲線 第2節 媒介変数表示と極座標							
	3								

教科名	数学	科目名	数学Ⅱ	履修学年	中学・ <u>高校</u>	2年	6	組	
単位数	3単位	使用教科書 補助教材等	教科書： 数研出版 NEXT数学Ⅱ、数学B、数学Ⅲ						
担当者	飯塚		問題集： 数研出版 CONNECT数学Ⅱ+B+C、数学Ⅲ+C						
学習目標	数学Ⅱの基本問題をしっかりと解けるようにする。								
評価方法									
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む姿勢			
評価規準	・教科書の定義・定理・公式を理解し、それらを活用して問題が解けるか。		・公式をそのまま利用するだけでは解けないような問題に果敢に挑戦できるか。 ・途中過程などを含めて、数学の答えを記述できているか。			・自宅学習にしっかりと取り組み、学習内容の定着を図れているか。 ・自分の課題などを把握し、どのように改善していくかを自分で考えられるか。			
各観点の授業内 評価方法等	主に定期考査の得点で評価する。また、小テストへの取り組みも考慮する。					主に問題集ノート提出やプリント課題の提出によって評価する。			
学期末の 各観点比率(%)	約80%					約20%			
授業計画									
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等					時間数	評価区分1	評価区分2
1	4	【数学Ⅱ】第3章 図形と方程式 第2節 円 第3節 軌跡と領域					14	1 学期 中間 考査	
	5	8.軌跡と方程式 9.不等式の表す領域							
	6	【数学Ⅱ】第4章 三角関数 第1節 三角関数					17	1 学期 期末 考査	
	7								
	8								
2	9	第2節 加法定理 【数学Ⅱ】第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数					13	2 学期 中間 考査	
	10	第2節 対数関数							
	11	【数学Ⅱ】第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数					16	2 学期 期末 考査	
	12								
3	1	第2節 関数の値の変化 第3節 積分法					14	学 年 末 考 査	
	2								
	3								

教科名	数学	科目名	数学B	履修学年	中学・ <u>高校</u>	2年	6	組	
単位数	2単位	使用教科書 補助教材等	教科書： 数研出版 NEXT数学B、数学C						
担当者	永野		問題集： 数研出版 CONNECT数学II + B + C						
学習目標	数列・ベクトルの基本問題をしっかりと身につける。								
評価方法									
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む姿勢			
評価規準	・教科書の定義・定理・公式を理解し、それらを活用して問題が解けるか。		・公式をそのまま利用するだけでは解けないような問題に果敢に挑戦できるか。 ・途中過程などを含めて、数学の答案を記述できているか。			・自宅学習にしっかりと取り組み、学習内容の定着を図れているか。 ・自分の課題などを把握し、どのように改善していくかを自分で考えられるか。			
各観点の授業内 評価方法等	主に定期考査の得点で評価する。また、小テストへの取り組みも考慮する。					主に問題集ノート提出やプリント課題の提出によって評価する。			
学期末の 各観点比率(%)	約80%					約20%			
授業計画									
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等					時間数	評価区分1	評価区分2
1	4	【数学B】第1章 数列 第1節 等差数列と等比数列 第2節 いろいろな数列 6.和の記号 Σ					10	1 学期 中間 考査	
	5	7.階差数列 8.いろいろな数列の和							
	6	第3節 漸化式と数学的帰納法					11	1 学期 期末 考査	
	7								
	8								
2	9	【数学C】第1章 平面上のベクトル 第1節 ベクトルとその演算					8	2 学期 中間 考査	第1 回 到達 度 確 認 テ ス ト
	10	第2節 ベクトルと平面図形							
	11						11	2 学期 期末 考査	
	12								
3	1	【数学C】第2章 空間のベクトル					9	学 年 末 考 査	第2 回 到達 度 確 認 テ ス ト
	2								
	3								

教科名	数学	科目名	数学Ⅱ	履修学年	中学・ 高校	2年	7, 8, 9	組	
単位数	4単位	使用教科書 補助教材等	教科書： 数研出版 NEXT数学Ⅱ、数学B、数学C						
担当者	高橋／安井／竹田		問題集： 数研出版 CONNECT数学Ⅱ+B+C、数学Ⅲ+C						
学習目標	数学Ⅱの基本問題をしっかりと身につけ、高3での受験勉強に備える。 高3で数学Ⅲの学習に集中できるように、IAにも取り組む。								
評価方法									
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む姿勢			
評価規準	・教科書の定義・定理・公式を理解し、それらを活用して問題が解けるか。		・公式をそのまま利用するだけでは解けないような問題に果敢に挑戦できるか。 ・途中過程などを含めて、数学の答えを記述できているか。			・自宅学習にしっかりと取り組み、学習内容の定着を図れているか。 ・自分の課題などを把握し、どのように改善していくかを自分で考えられるか。			
各観点の授業内 評価方法等	主に定期考査の得点で評価する。2, 3学期は到達度確認テストの得点も考慮する。 また、小テストへの取り組みも考慮する。					主に問題集ノート提出やプリント課題の提出によって評価する。			
学期末の 各観点比率(%)	約80%					約20%			
授業計画									
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等					時間 数	評価 区分 1	評価 区分 2
1	4	【数学Ⅱ】第3章 図形と方程式 第2節 円 第3節 軌跡と領域					20	1 学期 中間 考査	
	5	【数学Ⅱ】第4章 三角関数 第1節 三角関数 1.角の拡張 2.三角関数 3.三角関数の性質 4.三角関数のグラフ 5.三角関数の応用							
	6	第2節 加法定理 【数学Ⅱ】第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数					22	1 学期 期末 考査	
	7								
	8								
2	9	【数学Ⅱ】第5章 指数関数と対数関数 第2節 対数関数 【数学Ⅱ】第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数					16	2 学期 中間 考査	第 1 回 到達 度 確認 テ ス ト
	10	第2節 関数の値の変化 第3節 積分法							
	11	【数学C】第3章 複素数平面					22	2 学期 期末 考査	
	12								
3	1	【数学B】第2章 統計的な推測 第1節 確率分布 第2節 統計的な推測					17	学 年 末 考 査	第 2 回 到達 度 確認 テ ス ト
	2								
	3								

教科名	数学	科目名	数学 B	履修学年	中学・ <u>高校</u>	2 年	7, 8, 9	組	
単位数	2 単位	使用教科書 補助教材等	教科書： 数研出版 NEXT数学 B、数学 C						
担当者	永野／高橋		問題集： 数研出版 CONNECT数学 II + B + C						
学習目標	数列・ベクトルの基本問題をしっかりと身につけ、高3での受験勉強に備える。								
評価方法									
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む姿勢			
評価規準	・教科書の定義・定理・公式を理解し、それらを活用して問題が解けるか。		・公式をそのまま利用するだけでは解けないような問題に果敢に挑戦できるか。 ・途中過程などを含めて、数学の答案を記述できているか。			・自宅学習にしっかりと取り組み、学習内容の定着を図れているか。 ・自分の課題などを把握し、どのように改善していくかを自分で考えられるか。			
各観点の授業内 評価方法等	主に定期考査の得点で評価する。2, 3 学期は到達度確認テストの得点も考慮する。 また、小テストへの取り組みも考慮する。					主に問題集ノート提出やプリント課題の提出によって評価する。			
学期末の 各観点比率(%)	約80%					約20%			
授業計画									
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等					時間 数	評価 区分 1	評価 区分 2
1	4	【数学 B】 第 1 章 数列 第 1 節 等差数列と等比数列 第 2 節 いろいろな数列 6.和の記号Σ					10	1 学期 中間 考査	
	5	7.階差数列 8.いろいろな数列の和							
	6	第 3 節 漸化式と数学的帰納法					11	1 学期 期末 考査	
	7								
	8								
2	9	【数学 C】 第 1 章 平面上のベクトル 第 1 節 ベクトルとその演算					8	2 学期 中間 考査	第 1 回 到達 度 確認 テ ス ト
	10	第 2 節 ベクトルと平面図形							
	11						11	2 学期 期末 考査	
	12								
3	1	【数学 C】 第 2 章 空間のベクトル					9	学 年 末 考 査	第 2 回 到達 度 確認 テ ス ト
	2								
	3								